

表 1. 国立病院看護研究学会の存続について

項目	n	%
存続を希望しない	304	49.2
存続を希望する	90	14.6
決めかねる・答えたくない	224	36.2
合計	618	100.0

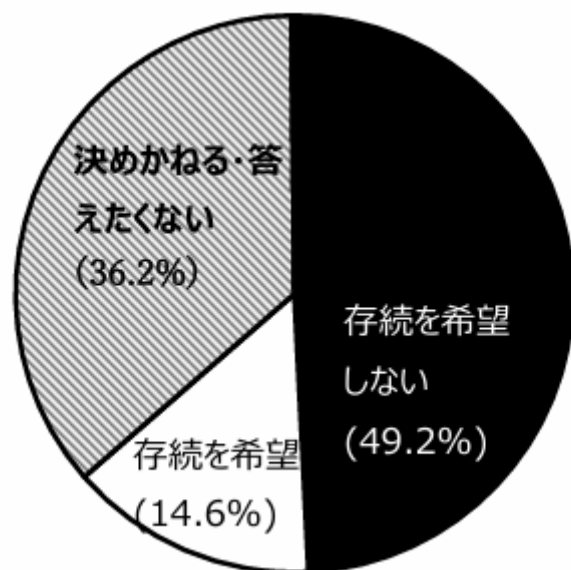


図 1 国立病院看護研究学会の存続について

表 2. 本学会の存続を希望する理由（複数回答）

N=89

項目	n	%
会員特典の充実	36	40.4
学術集会開催時期や開催方法	36	40.4
研究支援	36	40.4
研修会等の教育活動	28	31.5
論文投稿	20	22.5
研究助成金	14	15.7
年会費を値上げする	18	20.2
特段改善の必要はない	7	7.9
その他	3	3.4

表3 本学会の存続を希望しない理由(複数回答)

N=304

項目	n	%
他の学会で代用可能	264	86.8
魅力がない	65	21.4
会費が高い	30	9.9
その他	4	1.3

表4. 本学会の活動に満足できない点

自由記述を意味内容の類似性で整理した。

大項目	項目	n
学術集会について	発表演題数が少ない	13
	専門学会に参加したい	13
	共同研究者全員が会員を求められる	7
	開催の時期や場所が参加しづらい	9
	学術集会の担当になる施設がとても苦勞する	2
	オンラインでの学会運営が、不親切	1
	学術集会の期間が短く、セッションが少ない	1
	発表内容、プログラム	1
活動内容がわからない	活動が見えない	18
関連病院の学会であること	「国立病院」という狭い枠組み、会員が限定的	17
総合医学会等他の学会で間に合う	国立病院総合医学会、看護管理学会で代用可能	7
	機構以外の参加が少ない、	1
	グループ内の発表にとどまり新しい知見の獲得につながらない	1
査読が厳しい	学術集会、論文の査読が厳しい	4
質が低い	学会としての質があるとは言い難い 学術性の不足、研究内容がレベルとしても低い	5
	知名度が低い	4
参加しづらい	敷居が高い	2
研究する時間がない	研究は自己研鑽であり、時間がない	2
会費の請求が義務化	年会費が強制であること	4
魅力を感じない	あまり魅力を感じない	3

表 5. 他学会と比べて、本学会の良い点、満足している点

大項目	項目	n
会費等	年会費が安い	48
	学術集会参加費が安い	1
関連病院の学会であること	多くの学会員が機構・ナショナルセンター所属の看護職者であり、同じ理念をもつ者の学会である点	40
学術集会について	開催の時期、場所などが妥当	7
	演題の登録がしやすい、発表しやすい	4
	学術集会の質がよい、学習になる	2
	査読の質が高い	2
	研究発表の質が高い	1
	学会員同士の交流がある	1
	学会発表のテーマ、内容が適している。	1
学会誌について	投稿のしやすさなど、演題が採択されやすい	5
	興味深い、参考になる内容である	3
	学会誌を発行していること	2
	査読を受け研究を学ぶことができた	1
研究助成	研究助成の制度は大変ありがたかった	2
質が高い	論文や査読の質が高い	8
	学会参加や投稿では、様々な領域の発表ができる	2
	信頼性が高いと思います	1
	著名な先生方が、委員にいらっしゃること	1
発表しやすい	査読が通りやすいところ	3
	研究を発表したい時に採択されやすい。	2
	ハードルが低い、レベルがあまり高くない	3
	学会発表や学術誌投稿が採択されやすい貴重な学会	3
	研究初心者や病院における実践報告も登録可能であること	3
	若い世代の学会発表の登竜門としての魅力がありました。	2
	研究発表の場においてポスターによる発表で気軽に意見交換ができる。	1
	参加しやすい	4

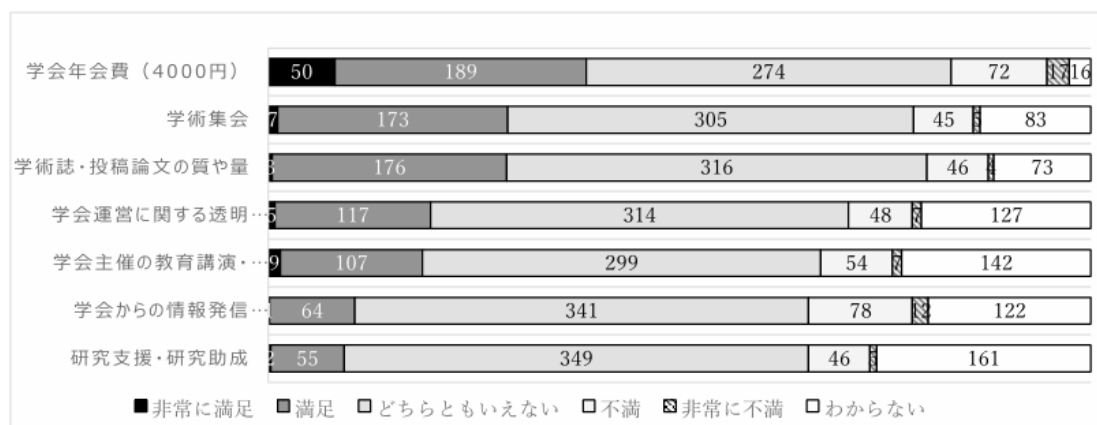


図 2. 本学会各事業の満足度